

Topics



1月12日に贈呈された北市 広毅さん



2月15日贈呈された工藤 弘毅さん

1月12日、2月15日、応接室において、剣淵町中小企業等UIターン者就業奨励金の目録贈呈が行われました。

贈呈されたのは、南桜町の株式会社キタコシファームに就業された2名で、和寒町から移住し就業された北市広毅さんと、剣淵町出身で旭川市で就職後に就業された工藤弘毅さんです。

北市さんは、「農に関わる会社を設立・経営すること」、工藤さんは「地元である剣淵町の知名度を上げること」を目標にキタコシファームで日々奮闘されています。



1月20日、大会議室において、町長と農業委員との意見交換が行われました。

内容は、昨年12月に提出された意見書に対する回答などについてです。

土地改良事業や治水対策、農業後継者対策など農業政策のほか、スマート農業など新たな分野についても話されました。



1月22日、剣淵町農業ブランド化推進協議会から、剣淵保育所、町内小中学校及び高等学校の児童・生徒に対し、剣淵町産の小豆（品種：しゅまり）で作られた「あんジャム」が配布されました。

新型コロナウイルス感染症の影響より、お土産品の原材料である小豆の価格が下落したため、小豆の消費拡大やPRを目的に開催が予定されていました「あんこフェスティバル」の来場者景品として作成されました。

しかし、このイベントが中止となり、協議会では、普段あんこに馴染みがない子どもたちに「剣淵町産の小豆」のおいしさを知ってもらいたいとの思いから配布することとなりました。

剣淵中学校で実施された事後アンケートでは、「71%の生徒が普段からあんこ製品を食べない」と回答しており、生徒からは「クッキーとの相性が抜群」、「あんこが苦手でも美味しく食べられる」と好評価な感想や、「チューブの口が狭く粒あんが詰まってしまう。こしあんが欲しい」などといった感想をいただきました。



配布されたあんジャム



2月5日、応接室において、士別市の大江建設株式会社から町に対し消毒液が寄贈されました。

大江建設株式会社の地域貢献事業の一環として、次亜塩素酸水の消毒液スプレーボトル20本と詰め替え用の消毒液約150ℓが寄贈されました。

早坂町長は「町内各施設などで使用させていただきます。」と感謝の意を述べていました。